

Magazine of  
Nakamura  
Alternative Life

vol.124  
2022.AUGUST

# CERERY



花  
ひ  
ら  
け。  
。

## ナカムラ活用術

食も社会も世界も。

先輩に会いたい

ナカムラの知の源

財務情報

NEWS&TOPICS

ナカムラのひと



## 食も社会も世界も。

That makes sense!

今回  
教えてくれたのは



教育学部 児童幼児教育学科  
**中島 憲子** 准教授

### Profile

福岡大学体育学研究科体育学専攻修了、体育学修士。2011年4月より現職。研究分野は、体育科教育学、体育学、身体教育学。本学の授業では、「体育科教育法Ⅰ」、「体育科教育法Ⅱ」、「生涯スポーツ論」等担当。2012年より、中村学園大学ほか、学生自主運営のボランティア「カンボジア教育支援プロジェクト」における活動を指導し、体育を中心にカンボジアの教育制度の確立を支援している。

**Q.** 「スポーツ文化」とは何ですか？

**A.** 広い意味で人生を豊かにしてくれる文化活動です。

スポーツという言葉は娯楽や気晴らし、本業から解き放たれる、遊びといった意味を持つラテン語「ディスポルタレ」が語源で、本来は楽しむことが目的。このように日常の中にある身近な楽しみを「スポーツ」と広義的に捉えれば、その身近な生活に深く根差した活動そのものが「スポーツ文化」。しかしどうしても「競争・競い合い」スポーツ」と捉えがちです。サッカーの試合に出る家族を応援することも、ホークスの試合運びについてまるで監督かのように議論することもスポーツ文化を楽しんでいることになりました。

**Q.** スポーツ文化ならではの良さを教えてください。

**A.** 他者と関わり、さまざまな思いを共有し豊かにつながることです。

高め合うライバル、楽しみあえる仲間がいるからさらに修練しようと思うし、好きな選手に興味を持つてその選手の生き様を知ろうとしたり応援したいと思う。このようにスポーツには他者との関わりが必ず存在します。ピョンチャン冬季オリンピックの際スピードスケートの小平奈緒選手と韓国のイ・サンファ選手もお互いを認め、高め合いながら勝ち負けを超えた深い友情を育みました。スポーツ文化は現代の希薄になった人間関係を再び紡ぐ力を持っているといえるでしょう。

テーマ

## 「スポーツ文化」



**Q.** 身近にあるスポーツの楽しみ方にはどんなものがありますか？

**A.** 見る、読む、支える、話すなど、いろんな楽しみ方があります。

自分がプレイすること以外にも、様々な参加の仕方がありますよね。球場やグラウンドへ足を運んでの観戦やテレビ観戦、地域のクラブや子ども会でのコーチ、ボランティアとして大会を支える、好きな選手の自叙伝やスポーツニュースを読むなどさまざま。「大谷選手の二刀流、常識を超えたね！」など感動を人と共有することも楽しみ方の一つ。「プレイ」するだけではない様々な関わり方を自らも創り出してほしいですね。

**Q.** スポーツに関わる時、どんなことを意識したらいいですか？

**A.** スポーツが映し出す社会問題を自分事として考えよう。

国際大会にトランスジェンダーの選手が出場したり、黒人殺害事件を背景にオリンピック選手が抗議行動をとったり、特別枠でプールのない国から海で練習してきた選手など、スポーツの場面には性の多様性や人種差別、貧困など社会問題を目の当たりにすることがあります。それらを自分事として捉えて、考えるきっかけにしてください。あなたの周りにも、困っている人がいるかもしれません。自ら声をあげにくい立場の人に手を差し伸べる社会でありたいですね。

### 中島先生が活動を指導する 「カンボジア教育支援プロジェクト」



Nakamura × SDGs

本学の取り組みはこちら▶



米国

## デラウェア大学に留学

したナカムラの学生は自分ひとり。月に一度、

## 学生部の職員の方と

## オンラインで話せたことで

メンタルのバランスを保てた気がします。

流通科学部 流通科学科 3年

加木 恵大 さん

## ナカムラ 活用術

こんなこと、あんなこと。  
学生目線のサポートいろいろ。  
いいね！がたくさん。

学生サポーターとして行く小学校の  
手配をしてもらえて  
大助かり。  
子どもたちとふれあえる  
いい機会だから、ぜひ、  
後輩にもサポーター  
体験をしてほしい。

教育学部  
児童幼児教育学科 3年

小林 大耀 さん

## 不安だらけだった就活中 親身になって

話を聞いてくださいました。  
職員の方の客観的な視点での  
アドバイスがあったからこそ

## 内定がいただけた と感じます。

栄養科学部  
フード・マネジメント学科 4年

新富 真綾 さん

編入学試験対策で利用した

ラーニング

サポートセンター。

英語の過去問を

マンツーマンで

徹底的に指導して

いただき結果が出ました。

栄養科学部 栄養科学科 3年  
渡邊 えみ さん



# 学生第一のきめ細かな サポートが盛りたくさん。 たくさん活用して 充実した学生生活にしたい。

学生生活をより価値あるものにしてくれる  
独自のサポート制度が多彩に揃っているナカムラ。  
編入学、留学、就活などを通して活用した  
ナカムラのサポートについて4名の学生に話を聞きました。

——3年生の皆さんは、コロナ禍での入学でしたか。

**小林** オンラインでの授業が多かったのですが、**N-note(ノートPC)**<sup>注1</sup>の貸与があったので本当にありがたかったです。「どこでも**プリント**」<sup>注2</sup>や**コンビニプリントサービス**<sup>注3</sup>もとても便利。

**新富** 授業で使うプリントしたいものが多いからうれしいサービスですね。



——渡邊さんは編入学試験を受けてこの春から栄養科学科3年生になりました。**編入学**<sup>注4</sup>試験の勉強が大変だったのでは。

**渡邊** 試験対策として**ラーニングサポートセンター**<sup>注5</sup>でマンツーマンで英語を指導していただきました。センターでは、過去問を徹底的に攻略したいという私の希望を尊重して

学習を組み立ててくれました。「ここは何度も出題されているから重点的に」など、傾向を掴んで熱心に教えてくださったおかげで自信を持って試験にのぞめました。感謝の気持ちでいっぱいです。



授業にも就活にも  
マストアイテムの  
N-note!



編入学のための  
英語指導もオンラインで  
受講しました!



**小林** そうなんです。僕は理科と数学を強化したくて同センターを活用して、実力アップできました。

——加木さんはスカラシッププログラム<sup>注6</sup>でアメリカのデラウェア大学に留学したんですね。留学前の英語の勉強はどうしてしましたか。



**加木** **One・On・Oneオンライン**<sup>注7</sup>を利用していました。

——加木さんはスカラシッププログラム<sup>注6</sup>でアメリカのデラウェア大学に留学したんですね。留学前の英語の勉強はどうしてしましたか。



【注1】N-note(ノートPC)

入学と同時に全学生に配付しています。WEB授業のほか、面談・相談など就職支援にも役立てています。N-noteはLTE対応、学内ではWi-Fiを完備。パソコンに関するサポート体制も万全です。

【注2】どこでもプリント

キャンパス内に設置しているプリンターで資料を無料で印刷できるサービスです。

【注3】コンビニプリントサービス

コロナ禍で大学への入構が制限された際に「自宅にプリンターがない」などの声に応え、セブンイレブンで無料で印刷できるサービスを提供しています。

【注4】編入学

短期大学部から本学大学3学部などへの編入学が可能です。短期大学部では、「編入学特別支援プログラム」を設け、中村学園大学をはじめ4年制大学への編入を目指す学生へ、専門科目の指導や小論文、面接対策の支援をしています。

【注5】ラーニングサポートセンター

学生一人ひとりの理解度や目的に合わせて丁寧な指導。国語・数学・理科・英語など高校の基礎科目は高校教諭経験者が個別・グループ指導を行います。大学での苦手教科の克服、学習ス



——コロナ禍での留学は手続きが大変だったのでは。

**加木** 入国前のPCR検査やワクチン接種など、出発までの準備は学生部に相談しながら進めました。



——留学中も大学と連絡を取り合うのですよね。

**加木** 毎月、月次報告書をメールした後に学生部の方とオンラインで話をしていました。留学先は日本人が少ない地域だったこともあり、時間を気にせず日本語でリラックスして会話することがメンタル面の支えになっていたなと感じます。

——新富さんは内定が決まったのですよね。ナカムラの就職支援はどうでしたか。

**新富** 連携推進部の職員の方が親身になってサポートしてくださいました。



——特にプラスになったことは？

**新富** 就活では自分を深掘りするあまり客観性が欠けてしまうことも多々あるので、外側からの目線でアドバイスしてもらったこ

とが良かったです。親以外に本音を話せる大人と接する機会は貴重でしたし、就活の最初から最後まで心強い味方でした。

——他にナカムラならではの良さを感じたことがありますか。

**新富** **ダブルスクール**<sup>注8</sup>で姉妹校の中村調理製菓専門学校に通いましたが、大学から専門学校へのバスが出ていて通いやすく、学費の割引制度や、私の学科では大学との単位互換制度もありました。就活でダブルスクールはウケが良かったです！

**渡邊** そうなのですね。いいことを聞きました(笑)。

**小林** 教育学部の学生が**学生サポーター**<sup>注9</sup>として小学校に行くときの手配と手続きを連携推進部がやってくれるので、みんなとて



も助かっています。他にも、相談したいとき、先生や職員の方が話しやすいのもうれしい。

**渡邊** 私たち編入生が周囲となじみやすくなるよう先生が授業中も配慮してくれます。

**新富** 私たちの質問にオンラインでもすぐに答えてくれて、本当に面倒見がいい大学だと思います。

キル向上を目指すWEB講座や学内講座も開講。

**【注6】スカラシッププログラム**

授業料や渡航費など、大学から支援がある海外留学プログラムで流通科学部を対象としたもの。留学先はアメリカやカナダをはじめ6カ国にある大学から選ぶことができ、期間は1年間もしくは半年となっています。

**【注7】One-On-One  
オンライン**

ネイティブの人と1対1でフリートークできるオンラインプログラム。キャンパス内には英語・中国語・韓国語で会話を楽しめる「語学カフェ」と「ぐろーばる広場」が設けられています。

**【注8】ダブルスクール**

姉妹校 中村調理製菓専門学校とのダブルスクールで調理師免許取得も可能。調理技術の修得で就職の幅が広がります。

**【注9】学生サポーター**

福岡市教育委員会と協定を結んでいる大学の学生が、福岡市立の学校に出向き、授業や学校行事、教材づくりなど教育活動のサポートをする制度。この制度を通じて小学校などでは、現場で児童と触れ合い、様々なことを学びます。

就活に関する質問は  
Microsoft Teamsの  
チャットで!



# ナカムラ 活用術

## 就活編

第一志望の  
企業に内定!



連携推進部でインターンシップのことから  
内定に至るまでサポートしてくださり、終始、  
安心して就活に取り組むことができました。  
例えば、就職試験においてパワーポイントを使  
って志望動機などのプレゼンに臨む際には、  
「まず企業側はどのような答えを望んでいる  
のかを考えた上で伝えるのが大事」、「スライ  
ドにこの書体を選んだ理由やここにこのイラ  
ストを入れた意味まで企業は求めている」な  
ど、自分では気づけないことを教えていただ  
くことの連続でした。不安なときや迷ったとき  
に相談のつてもらえて、新しい視点が得られ  
る、それがナカムラの就職支援の大きな魅力  
だと思います。

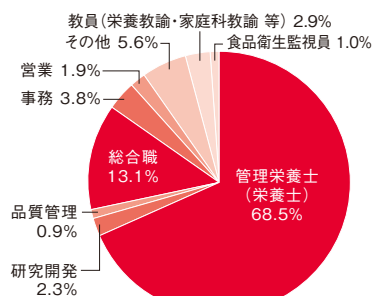
### ナカムラの就職サポート(連携推進部)

専門職系と一般職系の2系統の支援体  
制に分け、学生の希望職種別に専任職員  
を配置。一人ひとりに合わせたサポート  
体制を整えているのが特徴です。また早  
期からの就職セミナーの開催、オンライン  
によるチャットでの進路相談、オンライン  
模擬面接などの支援も実施しています。

## 学部学科の就職決定率(2022年3月卒業生) 2022年4月30日現在

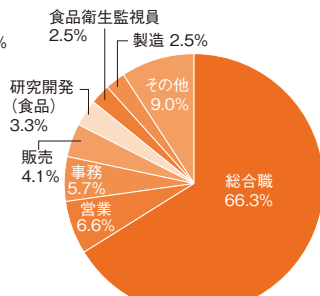
### 栄養科学部 栄養科学科

就職  
決定率 **99.1%**



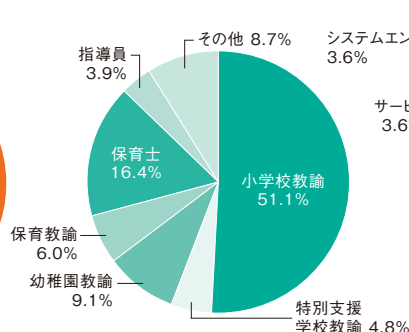
### 栄養科学部 フード・マネジメント学科

就職  
決定率 **98.4%**



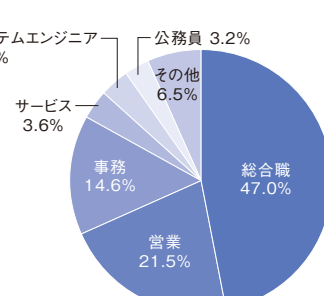
### 教育学部 児童幼児教育学科

就職  
決定率 **99.6%**



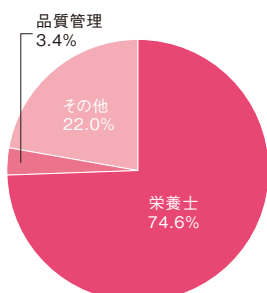
### 流通科学部 流通科学科

就職  
決定率 **98.4%**



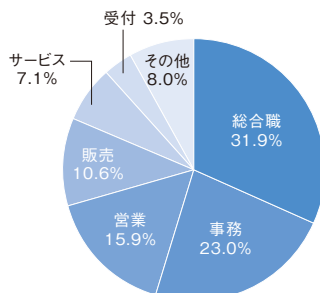
### 短期大学部 食物栄養学科

就職  
決定率 **100%**



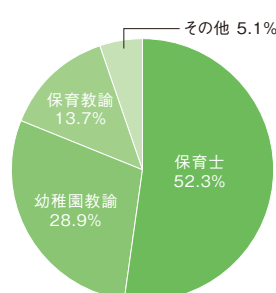
### 短期大学部 キャリア開発学科

就職  
決定率 **100%**



### 短期大学部 幼児保育学科

就職  
決定率 **100%**



## 先輩に会いたい

OB・OG  
interview  
vol.21

計測機器のレンタルを  
メイン事業とする会社に入社して5年目。中堅社員として活躍する神酒愛里さんに仕事のやりがいやナカムラで学んだことについてお聞きしました。

短期大学部 キャリア開発学科  
平成30(2018)年3月卒業

## 神酒 愛里さん

株式会社 アスコム



## お客様からのありがとうは大きなモチベーション

お客様のご要望に最適な機器を選定してレンタルを行う受発注業務を主に担当しています。「今日発送してほしい」「今から使用したい」等、お客様から急を要するお問い合わせを頂く場面が多くあります。たとえ弊社に在庫が無い場合でも、在庫がある協力会社を探し、何とかお客様にお届けできるよう努めています。「無理を承知でお願いしたのに、準備してくれてありがとう。あなたにお願いしてよかった。」と言われた時は本当に嬉しかったです。お客様のお役に立てることは大きなやりがいです。これからも多くのことを学び最高の対応を追求し続けたいです。

## 実務に生かせる学びを深めることができた

もともと事務職志望でパソコンが好きだったのでキャリア開発学科を選びました。資格取得のためのサポートが手厚く、日商 PC 検定や秘書検定、サービス接遇検定、医療事務といった実務に直結した資格を在学中に取得できたことはとても有意義でした。藤島先生のゼミで言葉遣いや来客応対などビジネスマナーを深く学べたことも日々の仕事の中で活かされていると感じています。

ナカムラでは、先生も学生もみんな仲が良く、和気あいあいの雰囲気の中で満ち足りた2年間を過ごすことができました。後輩の在生には「ナカムラで身につけたことは社会に出て必ず役立つので頑張ってお勉強してほしい」と伝えたいです。



1

1 「ナカムラでは週に1度スーツで通学するビジネスデイがあり、スーツを着慣れている状態で就活に臨めたことも良かったです」と話します。

2 神酒さんの入社がきっかけで、同社は毎年、キャリア開発学科からインターンシップ生を受け入れており、卒業生の社員が増えています。



2

## 先生の研究やゼミの内容について 教えてください。

大学院時代から継続している研究テーマは、どのような過程を経て保育者は成長するのかという保育者の熟達化です。現在、取り組みの一つとして、リーダー職である主任保育者の選定について園に取材に行き、事例を集めて調査しています。同じようなキャリアの保育者が複数いる中で、なぜその人が主任に選ばれたのか。分析すると、新人保育者が何かと相談を持ちかける先輩保育者が主任に選ばれる傾向があると分かりました。人の話に耳を傾ける人を主任に任命したほうが、園の方針がより皆に伝わるという捉え方がありません。将来的に主任を目指す学生も多いと思うので、今後さらにこの事例研究を深めていきたいです。

ゼミは「保育活動における保育者のねらいと配慮を考える」がテーマで、私が幼児教育現場で培った実践知を伝え、学生が実力をつけることが特色です。学生はさまざまな園行事を企画から実施まで体験します。例えば、保育のねらいを「季節の変化」に気づいたり、自然に触れて遊んだりすることを「楽しむ」として遠足を計画する。その下見では季節の植物も確認しなければと気づく。実際に先生役や子ども役を作って遠足に出かければ、安全な子どもを誘導の仕方や点呼のタイミングなども身をもって理解できる。このような生きた学びを通して「子どもが泣いていたら頭で考え立ち止まるのではなく、まずその子どもに駆け寄れる」保育者育成に貢献したいと考えています。

## 「おつかいプロジェクト」の活動 についてお聞かせください。

本学の経営企画室と協働で行っている「おつかいプロジェクト」は、本学で定期的に開催される「つくる人」と「食べる人」の交流を目指したイベント「NAKAMURAファーマーズ」

# ナカムラの 知の源

Nakamura Source of knowledge

短期大学部  
幼児保育学科  
櫻井 裕介 講師



1. 幼稚園教諭時代に園の保護者から贈られた手作りの布絵本。子どもたちや保護者の皆さんからの温かいメッセージがたくさん。
2. ゼミ活動の様子。先生役と子ども役に分かれて、保育のポイントを学びます。少人数ならではのきめ細かい指導をしています。
3. 「おつかいプロジェクト」は、学生にとっては学びの実践の場にもなっています。



1



2



3

「ケット」で実施されているワークショップです。地元福岡の農産物や乳製品、加工品などの販売が行われている同マーケット区内を、子どもが保護者とはなれて、自分で歩き回り買い物に挑戦します。子どもに寄り添うのはゼミ生をはじめ幼児保育学科の学生たち。知らない大人に「これください」と言うだけでも勇気が必要で、緊張しがちな子どもをどうサポートするかが腕の見せどころです。いつも学生と子どもが仲良く手をつないで買い物から帰ってくる姿を目にでき、学生の成長を感じています。

毎回、買い物を終えた子どもにご褒美で学生たちが製作した指人形をプレゼントします。指人形のモチーフはプロッコーやみかんなど同マーケットで売っていたもの。子どもが「今日見たものだ！福岡の野菜だ！」と後で結び付けられる教育的価値を忍ばせるのが保育のポイントです。子どもと学生の双方にとって有意義な取り組みなので今後も取り組んでいきたいと思っています。

**これから特に力を注ぎたいのは  
どんなことですか。**

大学の研究者という立場ではありませんが、現場を知っている実務家教員という視点を学外での活動にも、もっと役立てたいという思いがあります。今年度から北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会の専門委員を務めさせてもらっていて、園に調査に入っています。外部から人が来て調査されることに園側は監視されたり、指摘されたりするというマイナスイメージを抱きがちですが、どのようになれば子どもと職員がもっと楽しく園生活をおくれるのかと一緒に考えるためのプロセスであるという姿勢で取り組んでいきます。現場の声を理解し、代弁することは、私だからできるはず。評価する側に対して、園の意向や意見を正しく伝えられる架け橋的な役割を果たしていきたいと考えています。



幼稚園教諭を12年間務めた経験による

「実践知」を役立てていきたい。

実務家教員だからこそできることに注力する櫻井裕介講師に、ゼミなどの活動や今後の抱負について伺いました。

**より質の高い保育・幼児教育のため、  
現場を知る経験者の視点を  
研究や教育、学外の活動に。**

#### Profile

1999年中村学園大学家政学部(現 教育学部)卒業。学校法人けやきの木学園ながずみ幼稚園にて幼稚園教諭として12年勤務の後、中村学園大学大学院人間発達学研究科(現教育学研究科)に進学。2013年修了、人間発達学修士。福岡こども短期大学こども教育学科にて講師、道都大学社会福祉学部にて講師を務めた後、2016年4月より現職。2019年度より、厚生労働省「保育所における自己評価ガイドライン」の調査研究、周知・広報事業に携わる。2022年度より、北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会専門委員。

令和3年度決算は、令和4年5月30日開催の理事会において承認され、評議員会に報告し、意見を伺いました。令和3年度は第8次中期総合計画（令和3年度から令和5年度）の初年度として、学園各学校在事業計画達成に向けて事業を行いました。その決算の概要は次のとおりです。

昨年度に引き続き、中村学園の5つの基金に対して、学園各学校の卒業生、学校教職員OB、事業部職員OB、中村学園会の多くの方から寄付金

を賜り、基金の果実収入で学生・生徒・留学生への奨学金および大学教員への研究支援等目的に添って充当させていただきました。厚く感謝申し上げます。今後もさらなる学生の満足度を高めつつ教育研究の充実と財政の健全化に努めてまいりますので、皆さま方のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

詳しくは学園のホームページをご参照ください。

令和3年度の資金の状況と、その年度に行った諸活動に伴う資金の動きを管理することを目的に作られた表です。

(単位:千円)

| 収入の部          |             |             |             | 支出の部      |            |            |             |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|------------|-------------|
| 科目            | 予算          | 決算          | 差異          | 科目        | 予算         | 決算         | 差異          |
| 学生生徒等納付金収入①   | 6,210,285   | 6,223,560   | △ 13,275    | 人件費支出⑤    | 4,141,604  | 4,107,190  | 34,413      |
| 手数料収入②        | 141,332     | 142,627     | △ 1,295     | 教育研究経費支出  | 2,013,317  | 1,815,635  | 197,681     |
| 寄付金収入         | 23,972      | 37,034      | △ 13,062    | 管理経費支出    | 582,713    | 510,747    | 71,965      |
| 補助金収入③        | 1,482,302   | 1,592,499   | △ 110,197   | 借入金等利息支出  | 0          | 0          | 0           |
| (国庫補助金収入)     | (766,239)   | (796,324)   | (△ 30,085)  | 借入金等返済支出  | 0          | 0          | 0           |
| (地方公共団体補助金収入) | (716,063)   | (796,174)   | (△ 80,111)  | 施設関係支出⑥   | 1,121,122  | 1,121,114  | 7           |
| 資産売却収入        | 2,057,255   | 2,714,934   | △ 657,679   | 設備関係支出⑦   | 298,752    | 273,182    | 25,569      |
| 付随事業・収益事業収入   | 187,272     | 244,120     | △ 56,848    | 資産運用支出⑧   | 3,624,101  | 4,493,119  | △ 869,018   |
| 受取利息・配当金収入④   | 137,000     | 321,294     | △ 184,294   | その他の支出    | 420,321    | 420,555    | △ 234       |
| 雑収入           | 212,058     | 231,818     | △ 19,760    | [予備費]     | 20,000     |            | 20,000      |
| 借入金等収入        | 0           | 0           | 0           | 資金支出調整勘定  | △ 334,417  | △ 433,057  | 98,640      |
| 前受金収入         | 1,154,708   | 1,232,969   | △ 78,261    |           |            |            |             |
| その他の収入        | 919,530     | 980,148     | △ 60,618    |           |            |            |             |
| 資金収入調整勘定      | △ 1,390,357 | △ 1,434,949 | 44,592      |           |            |            |             |
| 前年度繰越支払資金     | 4,351,696   | 4,351,696   | 0           | 翌年度繰越支払資金 | 3,599,540  | 4,329,266  | △ 729,726   |
| 収入の部合計        | 15,487,053  | 16,637,753  | △ 1,150,700 | 支出の部合計    | 15,487,053 | 16,637,753 | △ 1,150,700 |

※千円単位で表示する際に千円未満を切り捨てているため会計などにおいて差異が生じる場合があります。

令和3年度の諸活動に伴うすべての収入・支出の内容を「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」にわけ、学園の経営状況を示しています。

(単位:千円)

| 教育活動収支 |              |           |           |             | 特別収支          |           |          |          |          |
|--------|--------------|-----------|-----------|-------------|---------------|-----------|----------|----------|----------|
| 区分     | 科 目          | 予 算       | 決 算       | 差 異         | 区分            | 科 目       | 予 算      | 決 算      | 差 異      |
| 収入の部   | 学生生徒等納付金     | 6,210,285 | 6,223,560 | △ 13,275    | 事業活動<br>収入の部  | 資産売却差額    | 0        | 45,987   | △45,987  |
|        | 手数料          | 141,332   | 142,627   | △ 1,295     |               | その他の特別収入  | 44,583   | 53,651   | △ 9,068  |
|        | 寄付金          | 23,972    | 37,654    | △ 13,682    |               | (現物寄付)    | (4,315)  | (13,383) | (△9,068) |
|        | (現物寄付)       | (0)       | (620)     | (△620)      |               | (施設設備補助金) | (40,268) | (40,268) | (0)      |
|        | 経常費等補助金      | 1,442,034 | 1,552,231 | △ 110,197   |               | 特別収入計     | 44,583   | 99,638   | △ 55,055 |
|        | (国庫補助金)      | (733,293) | (763,378) | (△30,085)   | 事業活動<br>支出の部  | 資産処分差額    | 39,113   | 39,436   | △ 323    |
|        | (地方公共団体補助金)  | (708,741) | (788,852) | (△80,111)   |               | その他の特別支出  | 0        | 0        | 0        |
|        | 付随事業収入       | 187,272   | 204,120   | △ 16,848    |               | 特別支出計     | 39,113   | 39,436   | △ 323    |
|        | 雑収入          | 212,494   | 232,001   | △ 19,507    |               | 特別収支差額    | 5,470    | 60,202   | △ 54,732 |
|        | 教育活動収入計      | 8,217,389 | 8,392,195 | △ 174,806   |               |           |          |          |          |
| 支出の部   | 人件費          | 4,136,678 | 4,102,015 | 34,662      | [予備費]         |           |          |          |          |
|        | (退職給与引当金繰入額) | (182,639) | (182,360) | (278)       | 基本金組入前当年度収支差額 |           |          |          |          |
|        | 教育研究経費       | 2,984,708 | 2,787,531 | 197,176     | 524,250       |           |          |          |          |
|        | (減価償却額)④     | (971,391) | (971,376) | (14)        | 1,301,481     |           |          |          |          |
|        | 管理経費         | 694,751   | 622,663   | 72,087      | △ 777,231     |           |          |          |          |
|        | (減価償却額)④     | (112,038) | (111,915) | (122)       | 基本金組入額合計③     |           |          |          |          |
|        | 徴収不能額等       | 0         | 0         | 0           | △ 1,456,363   |           |          |          |          |
|        | 教育活動支出計      | 7,816,137 | 7,512,210 | 303,926     | △ 1,577,167   |           |          |          |          |
|        | 教育活動収支差額     | 401,252   | 879,985   | △ 478,733   | 120,804       |           |          |          |          |
|        |              |           |           |             | 当年度収支差額       |           |          |          |          |
|        |              |           |           | △ 932,113   |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | △ 275,686   |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | △ 656,426   |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | 前年度繰越収支差額   |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | △ 72,322    |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | △ 72,322    |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | 0           |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | 基本金取崩額      |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | 108         |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | 38,108      |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | △ 38,000    |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | 翌年度繰越収支差額   |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | △ 1,004,327 |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | △ 309,900   |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | △ 694,426   |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           |             | (参考)          |           |          |          |          |
|        |              |           |           | 事業活動収入計②    |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | 8,398,972   |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | 8,853,128   |               |           |          |          |          |
|        |              |           |           | △ 454,156   |               |           |          |          |          |

(参考)

|          |           |           |           |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 事業活動収入計② | 8,398,972 | 8,853,128 | △ 454,156 |
| 事業活動支出計⑤ | 7,874,722 | 7,551,646 | 323,075   |

※千円単位で表示する際に千円未満を切り捨てているため会計などにおいて差異が生じる場合があります。

## 令和3年度決算の主なポイント

大学院・大学・短期大学部  
国道202号線拡幅工事に伴う学園地側整備  
2・4号館プロジェクト更新

女子中学校・高等学校  
新体育館建設費

三陽中学校・高等学校  
体育館トイレ改修

令和3年度末における資産、負債、基本金及び収支差額を明らかにし、学園の財政状態を表します。

(単位:千円)

| 資産の部     |            |            |           | 負債の部        |            |            |           |
|----------|------------|------------|-----------|-------------|------------|------------|-----------|
| 科目       | 本年度末       | 前年度末       | 増減        | 科目          | 本年度末       | 前年度末       | 増減        |
| 固定資産     | 44,226,944 | 43,061,195 | 1,165,749 | 固定負債        | 1,359,701  | 1,365,060  | △ 5,358   |
| 有形固定資産   | 26,841,315 | 26,543,545 | 297,770   | 流動負債        | 1,880,154  | 1,855,606  | 24,548    |
| 特定資産     | 10,156,077 | 9,515,949  | 640,128   | 負債の部合計      | 3,239,856  | 3,220,666  | 19,189    |
| その他の固定資産 | 7,229,551  | 7,001,700  | 227,851   | 純資産の部       |            |            |           |
| 流動資産     | 5,934,805  | 5,779,882  | 154,922   | 基本金         | 47,231,793 | 45,692,733 | 1,539,059 |
|          |            |            |           | 繰越収支差額      | △ 309,900  | △ 72,322   | △ 237,578 |
|          |            |            |           | 純資産の部合計     | 46,921,892 | 45,620,410 | 1,301,481 |
| 資産の部合計   | 50,161,749 | 48,841,077 | 1,320,671 | 負債及び純資産の部合計 | 50,161,749 | 48,841,077 | 1,320,671 |

※千円単位で表示する際に千円未満を切り捨てているため会計などにおいて差異が生じる場合があります。

令和4年度予算は、令和4年3月15日開催の評議員会及び24日開催の理事会において承認されました。  
その予算の概要は次のとおりです。

ますます学生生徒等の確保が厳しくなる中で、財政基盤の安定を図るために予算の適正かつ厳正な執行に努めてまいります。

令和4年度の資金の状況と、その年度に行う諸活動に伴う資金の動きを管理することを目的に作られた表です。

(単位:千円)

令和4年度資金収支予算書

| 収 入 の 部       |             |             |             | 支 出 の 部   |            |            |             |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|------------|-------------|
| 科 目           | 4年度予算       | 前年度予算       | 増減(△)       | 科 目       | 4年度予算      | 前年度予算      | 増減(△)       |
| 学生生徒等納付金収入①   | 5,987,598   | 6,210,285   | △ 222,687   | 人件費支出⑤    | 4,107,110  | 4,141,604  | △ 34,494    |
| 手数料収入②        | 136,019     | 141,332     | △ 5,313     | 教育研究経費支出  | 2,169,297  | 2,013,317  | 155,980     |
| 寄付金収入         | 4,000       | 23,972      | △ 19,972    | 管理経費支出    | 583,350    | 582,713    | 637         |
| 補助金収入③        | 1,458,599   | 1,482,302   | △ 23,703    | 借入金等利息支出  | 0          | 0          | 0           |
| (国庫補助金収入)     | (756,927)   | (766,239)   | (△9,312)    | 借入金等返済支出  | 0          | 0          | 0           |
| (地方公共団体補助金収入) | (701,672)   | (716,063)   | (△14,391)   | 施設関係支出⑥   | 3,291,128  | 1,121,122  | 2,170,006   |
| 資産売却収入        | 5,000       | 2,057,255   | △ 2,052,255 | 設備関係支出⑦   | 293,533    | 298,752    | △ 5,219     |
| 付随事業・収益事業収入   | 174,059     | 187,272     | △ 13,213    | 資産運用支出⑧   | 410,000    | 3,624,101  | △ 3,214,101 |
| 受取利息・配当金収入④   | 140,000     | 137,000     | 3,000       | その他の支出    | 331,970    | 420,321    | △ 88,351    |
| 雑収入           | 98,591      | 212,058     | △ 113,467   | [予備費]     | 20,000     | 20,000     | 0           |
| 借入金等収入        | 2,000,000   | 0           | 2,000,000   | 資金支出調整勘定  | △ 177,724  | △ 334,417  | 156,693     |
| 前受金収入         | 1,143,430   | 1,154,708   | △ 11,278    |           |            |            |             |
| その他の収入        | 655,201     | 919,530     | △ 264,329   |           |            |            |             |
| 資金収入調整勘定      | △ 1,160,956 | △ 1,390,357 | 229,401     |           |            |            |             |
| 前年度繰越支払資金     | 3,599,540   | 4,351,696   | △ 752,156   | 翌年度繰越支払資金 | 3,212,417  | 3,599,540  | △ 387,123   |
| 収入の部合計        | 14,241,081  | 15,487,053  | △ 1,245,972 | 支出の部合計    | 14,241,081 | 15,487,053 | △ 1,245,972 |

令和4年度の諸活動に伴うすべての収入・支出の内容を「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」にわけ、学園の経営状況を示しています。

(単位:千円)

令和4年度事業活動収支予算書

| 教育活動収支       |             |           |            |               | 特 別 収 支        |             |             |           |          |
|--------------|-------------|-----------|------------|---------------|----------------|-------------|-------------|-----------|----------|
| 区分           | 科 目         | 4年度予算     | 前年度予算      | 増減(△)         | 区分             | 科 目         | 4年度予算       | 前年度予算     | 増減(△)    |
| 収入の部<br>事業活動 | 学生生徒等納付金    | 5,987,598 | 6,210,285  | △ 222,687     | 収入の部<br>事業活動   | 資産売却差額      | 0           | 0         | 0        |
|              | 手数料         | 136,019   | 141,332    | △ 5,313       |                | その他の特別収入    | 38,106      | 44,583    | △ 6,477  |
|              | 寄付金         | 4,000     | 23,972     | △ 19,972      |                | (現物寄付)      | (4,735)     | (4,315)   | (420)    |
|              | 経常費等補助金     | 1,425,228 | 1,442,034  | △ 16,806      |                | (施設設備補助金)   | (33,371)    | (40,268)  | (△6,897) |
|              | (国庫補助金)     | (726,327) | (733,293)  | (△6,966)      |                | 特別収入計       | 38,106      | 44,583    | △ 6,477  |
|              | (地方公共団体補助金) | (698,901) | (708,741)  | (△9,840)      | 支出の部<br>事業活動   | 資産処分差額      | 31,476      | 39,103    | △ 7,627  |
|              | 付随事業収入      | 174,059   | 187,272    | △ 13,213      |                | その他の特別支出    | 0           | 0         | 0        |
|              | 雑収入         | 98,591    | 212,494    | △ 113,903     |                | 特別支出計       | 31,476      | 39,103    | △ 7,627  |
|              | 教育活動収入計     | 7,825,495 | 8,217,389  | △ 391,894     |                | 特別収支差額      | 6,630       | 5,480     | 1,150    |
|              | 人件費         | 4,129,078 | 4,136,678  | △ 7,600       |                | [予備費]       |             |           |          |
| (退職給与引当金繰入額) | (84,916)    | (182,639) | (△ 97,723) |               | 20,000         | 20,000      | 0           |           |          |
| 教育研究経費       | 3,179,492   | 2,984,190 | 195,302    | 基本金組入前当年度収支差額 | △ 37,181       | 524,250     | △ 561,431   |           |          |
| (減価償却額)④     | (1,010,195) | (970,873) | (39,322)   | 基本金組入額合計③     | △ 1,566,013    | △ 1,456,363 | △ 109,650   |           |          |
| 管理経費         | 680,736     | 694,751   | △ 14,015   | 当年度収支差額       | △ 1,603,194    | △ 932,113   | △ 671,081   |           |          |
| (減価償却額)④     | (97,386)    | (112,038) | (△14,652)  | 前年度繰越収支差額     | △ 1,004,327    | △ 72,322    | △ 932,005   |           |          |
| 徴収不能額等       | 0           | 0         | 0          | 基本金取崩額        | 704            | 108         | 596         |           |          |
| 教育活動支出計      | 7,989,306   | 7,815,619 | 173,687    | 翌年度繰越収支差額     | △ 2,606,817    | △ 1,004,327 | △ 1,602,490 |           |          |
| 教育活動収支差額     | △ 163,811   | 401,770   | △ 565,581  | (参考)          |                |             |             |           |          |
| 教育活動外収支      |             |           |            |               | 事業活動収入計②       | 8,003,601   | 8,398,972   | △ 395,371 |          |
| 区分           | 科 目         | 4年度予算     | 前年度予算      | 増減(△)         | 事業活動支出計⑤       | 8,040,782   | 7,874,722   | 166,060   |          |
| 収入の部<br>事業活動 | 受取利息・配当金    | 140,000   | 137,000    | 3,000         | 令和4年度予算の主なポイント |             |             |           |          |
|              | その他の教育活動外収入 | 0         | 0          | 0             |                |             |             |           |          |
|              | 教育活動外収入計    | 140,000   | 137,000    | 3,000         |                |             |             |           |          |
|              | 借入金等利息      | 0         | 0          | 0             |                |             |             |           |          |
| 支出の部<br>事業活動 | その他の教育活動外支出 | 0         | 0          | 0             |                |             |             |           |          |
|              | 教育活動外支出計    | 0         | 0          | 0             |                |             |             |           |          |
|              | 教育活動外収支差額   | 140,000   | 137,000    | 3,000         |                |             |             |           |          |
|              | 経常収支差額①     | △ 23,811  | 538,770    | △ 562,581     |                |             |             |           |          |

大学院・大学・短期大学部

別府キャンパス南側近接地取得  
城南寮南側県教職員住宅跡地取得  
2号館女子トイレ改修工事(前年度より繰延)

女子中学校・高等学校

三陽中学校・高等学校

用語解説

① 学生生徒等納付金収入

入学金、授業料や実験実習費、維持充実費などの学費。学園最大の収入源になります。

② 手数料収入

入学検定料を中心とした手数料による収入、各種証明書の発行手数料も含まれます。

③ 補助金収入

国庫補助金の「私立大学等経常費補助金」などで①に次ぐ収入源となります。

④ 受取利息・配当金収入

学園が保有する預貯金や債券の利息収入です。

⑤ 人件費支出

専任教職員や非常勤講師、嘱託職員、学生アルバイトの給与および退職金などの支出です。

⑥ 施設関係支出

土地や建物などの固定資産取得のための支出です。

⑦ 設備関係支出

教育研究を目的とした機器備品や図書など固定資産取得のための支出です。

⑧ 資産運用支出

将来の固定資産取得のための積立金や特定事業目的のための引当資産などへの繰入額です。

① 経常収支差額

本業の教育活動と財務活動による経常的な収支バランスを表します。

② 事業活動収入

負債とらないすべての収入総額(学生生徒等納付金・手数料・寄付金・補助金など)のことです。

③ 基本金組入額

固定資産などの取得価格、将来の固定資産取得のための積立金、特定目的(奨学金、課外活動事業など)基金への積み増しにあてられた額です。

④ 減価償却額

建物、備品などの有形固定資産の劣化分を耐用年数(使用予定年数)に応じて計上するものです。

⑤ 事業活動支出

教育研究活動に伴うすべての支出総額のことです。人件費をはじめ教育研究経費、管理経費、借入金等利息などに加え、固定資産の減価償却額も含まれます。

TOPICS  
03 教員の表彰

九州地区大学体育連合「体育・スポーツ・健康に関する教育研究協議」の一般発表にて優秀発表賞受賞

教育学部 西田 明史 准教授 田村 孝洋 講師

令和4年3月、教育学部 西田明史准教授と田村孝洋講師の共同研究が九州地区大学体育連合「体育・スポーツ・健康に関する教育研究協議」の一般発表にて優秀発表賞を受賞しました。この研究は、「大学体育授業におけるルーブリック評価表作成の試み」をテーマとして掲げ、本学の体育授業において学生の学修状況や達成度を適切に反映させることにより学生にとって理解しやすい評価基準となるルーブリックの作成を試みたものです。

受賞 「令和3年度ウエスコ財団優秀研究者賞」を受賞

栄養科学部栄養科学科 川野 光興 准教授

この表彰は、ウエスコ財団の研究活動費助成事業で実施した研究をもとに、学会等に論文として発表することで学術的に評価された研究実績を上げた研究者や、研究成果を実用化させるなど大きく社会に貢献・活用される功績を上げた研究者を表彰するものです。

川野准教授は、人工ファージ(細菌にのみ感染するウイルス)を作製して、抗菌薬が効かない薬剤耐性菌に対しても、簡便で高効率かつ安全に殺菌できる方法の開発に成功し、その功績が評価されました。

【研究題目】「カルバペネム耐性細菌の駆除を目指したファージ療法の開発」  
(平成30年度～令和元年度研究活動費助成事業)

「FOLLOW ME!」 SNSで情報発信中!

Facebook リニューアル ID:nakamuragakuen.univ

2022年6月より、新しいページにリニューアルしました。  
本学に関するイベントやお知らせ、学生生活の様子などを配信!

Instagram始めました! ID:@nakamura\_university

キャンパスの様子や学生生活を配信。  
スタッフや学生が撮影した写真や動画もアップしています。

TOPICS  
01 名誉教授称号記授与式が  
執り行われました

名誉教授の称号は、長きにわたり本学の教育と学術の発展に寄与したことが評価され、授与されるものです。

令和4年6月21日(火)、中村理事長より、令和4年3月に退任された古賀信幸先生(栄養科学部)、相良康弘先生(教育学部)、山田啓一先生(流通科学部)に中村学園大学名誉教授の称号を、梶田鈴子先生(短期大学部キャリア開発学科)に中村学園大学短期大学部名誉教授の称号を授与されました。

TOPICS  
02 夏のオープンキャンパスを  
開催しました!

令和4年8月6日(土)、7日(日)に『夏のオープンキャンパス』を開催しました。

夏のオープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症の影響で、オンラインでの開催が続いていましたが、今年は感染防止対策を講じたうえで、3年ぶりに来場型で実施しました。

2日間で高校生・保護者など約2,000名の方にお越しいただき、在学生のスタッフがお迎えしました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

教職員の  
出版物

Faculty and staff  
publications



1



2



3



4



5



6

## 1 新時代の保育双書 乳児保育【第4版】

野中 千都 教育学部 准教授 共著  
(株式会社みらい 2022年3月)

## 2 小学校理科 授業実践ハンドブック

石田 靖弘 教育学部 教授 共著  
新井 しのぶ 教育学部 講師 共著  
(教育出版 2022年4月)

## 3 生活事例からはじめる一保育内容一言葉

野中 千都 教育学部 准教授 共著  
(青踏社 2022年4月)

## 4 入門簿記会計

日野 修造 流通科学部 教授 単著  
(中央経済社 2022年4月)

## 5 よくわかる地域社会学

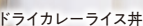
井上 智史 幼児保育学科 講師 共著  
(ミネルヴァ書房 2022年5月)

## 6 日韓における外国人労働者の受入れ

一制度改革と農業分野の対応—  
甲斐 諭 学校法人中村学園 顧問 共著  
(九州大学出版会 2022年8月)

著者は本学教員のみ記載※肩書き等は発行日現在のもの

「気軽に食べよう！丼レシピコンテスト」最優秀賞決定！



12 ● CELERY

## 外部資金等の受入状況

## 研究助成寄付金

[研究代表者] 熊原 秀晃(栄養科学科 教授)  
 [摘要] トップ競泳選手育成のためのジュニア選手を対象とした栄養支援に関する包括的研究  
 [寄付者] 株式会社イトモンスポーツスクール  
 [受入年度] 2022年度  
 [寄付金額] 100,000円

## 研究助成

[研究代表者] 末武 勲(栄養科学科 教授)  
 [共同研究者] 徳井 孝孝(薬膳科学研究所 所長)  
 [研究課題名] 未利用農産物由来の抽出液におけるαシヌクレインのアミロイド化抑制効果  
 [研究助成所管団体] 株式会社久留米リサーチ・パーク  
 [事業名] 2022年度福岡バイオ産業創出事業に係る可能性試験事業  
 [交付金額] 1,000,000円

[研究代表者] 吉川 卓也(流通科学部 准教授)  
 [研究課題名] 日本の家計の金融資産保有行動の長期的変化とその特徴  
 [研究助成所管団体] 公益財団法人かんば財団  
 [事業名] 令和4年度調査研究  
 [交付金額] 500,000円

## 受託研究

[研究代表者] 河手 久弥(栄養科学科 教授)  
 [研究課題名] 日本人若年女性における血中ビタミンD濃度の実態調査及びビタミンD欠乏判定のための予測モデル開発研究  
 [発注先] 日本医療研究開発機構AMED(大阪公立大学)  
 [研究期間] 2022年4月1日～2023年3月31日  
 [研究経費] 52,000円

[研究代表者] 川野 光興(栄養科学科 准教授)  
 [研究課題名] 多分野・多領域・多地域を集約した日本発新規医療技術の研究開発 シーズA255「抗菌アンチセンスRNA発現ファージを用いた薬剤耐性菌殺菌法の開発」  
 [発注先] 日本医療研究開発機構AMED(九州大学)  
 [研究期間] 2022年4月1日～2023年3月31日  
 [研究経費] 3,306,250円

[研究代表者] 山本 朋弘(教育学部 教授)  
 [研究課題名] 情報モラルやプログラミングの教材コンテンツを活用した授業映像の開発  
 [発注先] 株式会社ジャストシステム  
 [研究期間] 2022年4月1日～2023年3月31日  
 [研究経費] 391,600円

[研究代表者] 山本 朋弘(教育学部 教授)  
 [研究課題名] 3Dプリンタ・プログラミング教材を活用したSTEAM教育に関する研究  
 [発注先] リコージャパン株式会社  
 [研究期間] 2022年4月1日～2023年3月31日  
 [研究経費] 495,000円

## 共同研究

[研究代表者] 近江 雅代(栄養科学科 教授)  
 [研究課題名] 社員食堂を活用した栄養・食生活支援による食環境介入プログラムの実践的検証  
 [共同研究者] タンスのゲン株式会社  
 [研究期間] 2022年4月1日～2023年3月31日

[研究代表者] 野崎 剛弘(栄養科学研究科 特命教授)  
 [研究課題名] 高ストレス教職員に対して、インターネットを介したマインドフルネス療法によるストレス低減効果の検証:無作為化比較対照試験・パイロット研究  
 [共同研究者] 公立学校共済組合九州中央病院  
 [研究期間] 2022年7月22日～2023年3月31日

[研究代表者] 熊原 秀晃(栄養科学科 教授)  
 [共同研究者] 大和 孝子(栄養科学科 教授)  
 [研究課題名] トップ競泳選手育成のためのジュニア選手を対象とした栄養支援に関する包括的研究  
 [共同研究先] 株式会社イトモンスポーツスクール  
 [研究期間] 2022年4月1日～2023年3月31日

[研究代表者] 田中 るみこ(教育学部 助教)  
 [研究課題名] 産学連携 HARU研究による保育環境・保育教材の開発  
 [共同研究者] 株式会社ニトムズ  
 [研究期間] 2022年4月1日～2023年3月31日

[研究代表者] 三堂 徳孝(食物栄養学科 教授)  
 [研究課題名] シオバキの新たな利用方法に関する研究  
 [共同研究者] 福岡県水産海洋技術センター  
 [研究期間] 2022年5月2日～2023年3月31日

## 科学研究費助成事業

## 基盤研究(C)

[研究代表者] 末武 勲(栄養科学科 教授)  
 [研究課題名] タンパク質の構造をとらない領域の運動性・機能の解析  
 [研究期間] 2022年度～2024年度  
 [交付額] 4,160,000円

[研究代表者] 太田 千穂(栄養科学科 准教授)  
 [研究課題名] ノビレチンによる潰瘍性大腸炎モデルラットによる疾病制御機構の解析  
 [研究期間] 2022年度～2024年度  
 [交付額] 2,600,000円

[研究代表者] 川野 光興(栄養科学科 准教授)  
 [研究課題名] 性線毛を産生する多剤耐性菌を特異的に殺菌する方法の開発  
 [研究期間] 2022年度～2024年度  
 [交付額] 4,070,000円

[研究代表者] 小野 美咲(栄養科学科 講師)  
 [研究課題名] トリプルネガティブ乳癌のサブタイプ別にみた大豆イソフラボンの抗腫瘍効果の検討  
 [研究期間] 2022年度～2024年度  
 [交付額] 4,160,000円

[研究代表者] 津田 晶子(フード・マネジメント学科 准教授)  
 [研究課題名] 小中高連携を目指す持続可能な食育英語のCLIL:プログラム開発と効果検証  
 [研究期間] 2022年度～2025年度  
 [交付額] 2,470,000円

[研究代表者] 那須 信樹(教育学部 教授)  
 [研究課題名] 保育者のキャリアアップ研修における効果検証に関する開発的研究  
 [研究期間] 2022年度～2024年度  
 [交付額] 3,900,000円

[研究代表者] 野上 俊一(教育学部 教授)  
 [研究課題名] 知識の精緻化による知的好奇心の生起メカニズムの検討  
 [研究期間] 2022年度～2024年度  
 [交付額] 3,120,000円

[研究代表者] 新井 しのぶ(教育学部 講師)  
 [研究課題名] SDGsを実感できる幼児向け科学リテラシーの育成に関する研究  
 [研究期間] 2022年度～2026年度  
 [交付額] 3,510,000円

[研究代表者] 島田 淳巳(食物栄養学科 教授)  
 [研究課題名] 食用ハーブ由来グルタミン酸代謝関連酵素阻害物質による抗うつ作用の解明  
 [研究期間] 2022年度～2024年度  
 [交付額] 4,160,000円

[研究代表者] 橋本 一雄(幼児保育学科 准教授)  
 [研究課題名] 公教育における道德教育と思想・良心の自由との理論的緊張関係の解明  
 [研究期間] 2022年度～2024年度  
 [交付額] 2,210,000円

[研究代表者] 松園 聡美(幼児保育学科 准教授)  
 [研究課題名] 府県派出音楽伝習生と地方唱歌教育の研究—学事諮問会を起点として—  
 [研究期間] 2022年度～2024年度  
 [交付額] 1,820,000円

[研究代表者] 山下 雅佳実(幼児保育学科 講師)  
 [研究課題名] 保育士養成課程に求められる多職種連携教育プログラムの開発—協同による知の創造—  
 [研究期間] 2022年度～2025年度  
 [交付額] 4,290,000円

## 挑戦的研究(萌芽)

[研究代表者] 井上 仁(流通科学部 教授)  
 [研究課題名] 位相的データ解析によるラーニング・アナリティクスの新展開  
 [研究期間] 2022年度～2024年度  
 [交付額] 6,240,000円

受講料無料!

通信費はご自身の負担となります。

Web

令和4年度 | 第49回

公開講座

今年もオンライン形式で開催いたしますので、下記期間内に本学ホームページからお申し込みください。申込後に、YouTubeチャンネルのURLが送信されますので、そちらからご視聴ください。

申込&amp;公開期間 2022年11月1日(火)～2023年1月31日(火)

| 講座名                          | 講師                          |
|------------------------------|-----------------------------|
| 旨い魚はなぜうまい                    | 栄養科学部栄養科学科 准教授 木村 秀喜        |
| 食中毒の基礎知識                     | 栄養科学部フード・マネジメント学科 准教授 古田 宗宜 |
| 原典で読む文学—江戸時代の資料を中心に—         | 教育学部児童幼児教育学科 教授 古相 正美       |
| いまから始める株式投資—会計情報と株価の関係をふまえて— | 流通科学部流通科学科 講師 土井 貴之         |
| 江戸時代の庶民の暮らし—江戸、そして、ちよこつと福岡—  | 短期大学部キャリア開発学科 教授 岸川 公紀      |

・講座内容の詳細については本学ホームページに記載しています。  
 ・11月1日以降申し込みが可能になります。

中村学園大学 公開講座 検索

または  
QRコードからアクセス



お問い合わせ

中村学園大学・中村学園大学短期大学部  
 連携推進部「公開講座」係  
 TEL 092-851-5579

# ナカムラのひと

今回は

栄養科学部  
フード・マネジメント学科2年

安武 はな さん

中村学園女子高等学校出身

「食の力で多くの人を幸せにしたい」という  
思いを抱き、ナカムラに入学した 安武はなさん。  
好きな授業や将来のことなど  
いろいろなお話を伺いました。



## 父の笑顔がきっかけに

母が亡くなった後、父はかなり落ち込んでいました。そんな状況でも家事をこなしてくれていましたが、前もって言わずにある朝、私のみそ汁を作ったんです。そうしたら父が久しぶりに笑顔を見せて喜んでくれました。本当にうれしかった。そのことが「食の力で多くの人を幸せにしたい」と思うようになったきっかけです。また子どもの頃からみそ汁講座や料理教室を開かせていただくなかで、管理栄養士や栄養士の方と接して食関係の仕事のすばらしさや大切さを強く感じました。

たいと考えています。また在学中にできるだけ多くの資格を取得するも目標。今は簿記の勉強を頑張っています。

## 食品開発の仕事に関心

面倒見のいい先生方と親切な友達に恵まれ本当にナカムラにきて良かったです。学業にアルバイトに趣味のヒップホップダンスと、忙しいけれどとても充実しています。将来は食品開発の仕事に関心があります。選択肢はいろいろあるのでこれから学びを深めいろんな経験をして決められればと思っています。

## 留学や資格取得にも挑戦したい

早くから栄養科学部進学を目指していたので、高校からナカムラへ。高校では、家では作らないような料理を作った調理実習がとりわけ楽しかった思い出です。フード・マネジメント学科で、今、特に面白いと思う科目は「国際食文化論」。東南アジアをはじめ海外の料理が大好きなので、さまざまな視点から世界の食文化を考察していくことはとても楽しいです。ハワイ留学をした先輩から現地でしか学べないことが身についたと聞き、留学にもチャレンジし



「できる限り家で料理を作って父と一緒に食べるようにしています」とはなさん。



安武はなさんが5歳の時、母親の千恵さんは33歳の若さで天国に旅立ちました。闘病生活を送りつつ長くはない余命を覚悟した千恵さんは、まだ幼いはなさんにみそ汁の作り方や掃除や洗濯物干しを教えました。「食べることは生きること。健康で生きる力が身につけば将来どこに行っても何をしても生きていける」と。

食べることの大切さをはなさんに伝えた千恵さんの生きざまが綴られた「はなちゃんのみそ汁」は多くの人々の心を揺さぶりました。今年2月、はなさんと父 信吾さんが千恵さんの他界後を記した「はなちゃんのみそ汁 青春篇」が刊行されました。



「はなちゃんのみそ汁」  
(文藝春秋 2012年3月)

◀「はなちゃんのみそ汁 青春篇」  
(文藝春秋 2022年2月)



ナカムラのひと  
中面をチェック!



【編集】中村学園大学・中村学園大学短期大学部 入試広報部

【発行日】令和4年8月31日

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1 TEL 092-851-2531

【ホームページ】<https://www.nakamura-u.ac.jp/>

公式ホームページ



公式facebook

